

## 2019年度 神奈川衛生学園専門学校 自己点検評価結果

### (1) 教育理念・目的・育成人材像

本校は1956年（昭和31年）に神奈川県小田原市に設置され、現在は横須賀市に位置している。初代理事長後藤真一が掲げた「私たちの学ぶ技術は、芸術であり、科学であり、職業でもある」を建学の精神とし、「心ある、そして考える医療人を育てる」を教育理念としている。

現在では看護師、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師を養成し、各専門分野における医療人の育成に取り組んでいる。

教育理念や育成人材像は分かりやすく図も用いて表現し、ホームページや学生便覧などにより、教職員や学生だけでなく、広く社会一般に情報発信している。

また、「社会性の教育」の一環で、両学科コラボレーションする授業展開なども実施している。

### (2) 学校運営

本校の運営方針や事業計画等は法人本部として位置づけられている企画調整局を中心に策定し、理事会・評議員会で決定され、学園として毎年4月に開催される新年度会にて教職員に周知している。2019年度は神奈川衛生学園専門学校としての全体会を開催し、教職員への事業計画の周知を図ったが、2020年度は運営方針や事業計画をより浸透させ、浸透度を確認する予定である。

その他、学校運営に必要となる職務分掌や各種規程のブラッシュアップも行っていく予定である。

### (3) 教育活動

本校には、看護師を養成する看護学科及びあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師を養成する東洋医療総合学科が設置されている。

各学科認定指定規則に基づきカリキュラムを編成し、教育到達レベルや教授内容等についてシラバスに記載している。職業実践教育の視点による教育内容の工夫に関しては、各学科とも臨床実習・臨地実習等において適切に実施している。

授業評価制度については、学生による授業評価を実施している。今後は教員による授業評価も行い、より充実した教育活動が図れるようにしていく。

成績評価については学則に明確に定め、適切に運用している。教員の知識・技能レベルは各認定規則に基づいて採用していることから関連業界等のレベルに適合している。

国家資格・認定資格の取得に関連する3年間の計画を立案し、指導体制を明確にして実施している。

2020年度は教員の教育力の向上に向けて研修を企画し、組織的に対応していく。

### (4) 学修成果

2019年度卒業生の就職・進学率は、看護学科は100%、東洋医療総合学科では80.9%であった。各学科とも国家試験合格率100%を目標に学習支援に取り組んでおり、今年度の合格率は、看護学科で

77.4% (全国平均 89.2%)、東洋医療総合学科ではあん摩マッサージ指圧師 92.9% (全国平均 84.7%)、はり師 85.7% (全国平均 73.6%) きゅう師 85.7% (全国平均 74.3%)であった。2020 年度はさらにサポート体制を強化していく。

また、卒業生の社会的評価を把握するため就職先の実習病院などに対し、現状等の聞き取りを実施したが、2020 年度は卒業生の社会的評価についての方法を再度検討する。

#### (5) 学生支援

学生生活全般を支援するように努めており、学生生活の相談や就職支援体制は整備されている。

学生生活（精神面・学業面）については、各学科ともに個人面談を実施することにより学生からの相談に対応している。

学習面による退学者が増えていることから、退学者低減に向け、補強学習や学習相談室など学習支援の強化を行った。健康面では学生の健康管理に努め、近隣医院の医師に学校医を依頼し連携を図っている。健康相談室を開室し、学生の健康相談に対応できる体制を確立した。2020 年 4 月からの敷地内全面禁煙を実施する予定である。

卒業生への支援体制として、東洋医療総合学科ではアドバンスセミナーを開催し継続学習のサポートを行った。

また、より一層保護者との連携を図るため、保護者保証人会を 2 回実施し、保護者との連携を早期に行うように努めた。東洋医療総合学科は保護者保証人へ定期的に出席・成績状況を通知している。

#### (6) 教育環境

専修学校設置基準に基づき教室・実習室等が整備されており、教育設備備品については毎年度各学科で予算計画を立て、その充実に努めている。

特に図書室は医学書を中心に約 20,000 冊の蔵書があり、司書が常駐しサポート体制ができている。

学外実習については、看護学科は臨地実習において実習施設及び実習指導者と連携し、適切に実施している。また、東洋医療総合学科では、学外施設の協力を得て体験・見学実習を行っている。

防災体制については、防災マニュアルに定め、備蓄品の充実、防災訓練も 2 回実施している。

安全管理体制については、防犯システムを導入し 24 時間体制で管理している。

2020 年度は危機管理マニュアルの更なるブラッシュアップを行い、より安全な学校づくりをしていく予定である。

#### (7) 学生の募集と受け入れ

学生募集にあたっては、法人広報室を中心に各学科教員や職員と連携を図り、ホームページや入学案内などによる広報活動や体験入学、学校見学、個別相談等による募集活動に取り組んでいる。

また、学校訪問を重点的に行い、進路指導担当者との信頼関係構築を目指すとともに、ガイダンスへの参画などによる募集活動も行い、入学定員の充足に努めているが、今後より一層の効果的な活動が必要である。

#### (8)財 務

本校の2019年度の財務状況は、事業提携により改善されつつある。そのため、財務を含め情報公開規程に準拠した情報提供ができるよう次年度に向け取り組んでいく。会計監査は公認会計士及び税理士が適宜実施し、年度末には監査法人による会計監査も確実にしている。

学校会計の改善で必須となる定員確保ならびに退学者・休学者減少に対し、引き続き取り組むことで更なる財務改善を図っていく。学校運営については予算管理に尽きるため、その実施と予算達成のために経費削減は継続的に実施する予定である。

#### (9)法令等の遵守

本校は設置学科ごとに毎年度養成報告を実施し、設置基準等の法令について遵守している。

今年度も自己点検評価委員会を中心に「専門学校等評価基準書 Ver. 4.0」の評価項目に基づいて自己点検・自己評価を実施した。

2020年度は個人情報保護に関する規程の見直しを行い、ブラッシュアップする予定である。

#### (10)社会貢献・地域貢献

本学園は、「地域に信頼され、地域と共に歩む学園」を目指し、教育・研究・臨床の側面から、地域・社会の諸問題の解決に取り組むことを宣言し、地域・社会に対して貢献できるように努めている。附属施設として、はりきゅう臨床施設、横浜国際プールはりきゅうマッサージ室では、鍼灸マッサージの施術を行っている。

今年度も、地域との連携で横須賀市市民講座や横須賀市スポーツ協会講演会を担当したり、転倒予防のための講座やツボ講座などを実施し、積極的に取り組むことができた。また横須賀市の後援を頂戴しての講座を開催し、地域と連携して進められた。2020年度も横須賀市と連携し地域向け講座を継続して実施していく。

#### (11)国際交流

学術交流の一環として中国やアメリカでの研修を例年実施しているが、2019年度はコロナウイルス感染状況により、中止となった。2020年度も感染状況を鑑みながら、国際交流の在り方について検討していく。